



だいたいメールの情報配信者を対象にした説明会

# 情報発信に有効活用

## だいたいメール 配信開始控え説明会

だいたいメール運営協議会(菊地昌斉会長)は、29日、7月1日から配信する「だいたいメール」の情報発信者説明会を一

関市大東町の大東コミュニティセンターで開いた。町内の行政や団体、企業の代表者ら30人が参加し、イベントの告知や

参加募集のためのメールの活用を理解を深めた。

だいたいメールは、防災無線や戸別受信機に代わる情報発信媒体として、同町の6地域協働体で設立した同協議会が配信する。指定のアドレス [apply@dato-mai.com](mailto:apply@dato-mai.com) に空メールを送るだけで無料登録できる。

同日は事務局が情報配信までの流れを解説し、「一般のお知らせは午前7時と正午、午後6時の3回配信なので、例えば午前11時に配信情報を打ち込むと、正午に配信される。緊急情報は10分に配信できるので、イベントの中止や延期などのときに活用してほしい」と呼び掛けた。

参加者からはシステムの仕組みなどについて質問が出された。摺沢婦人会の菅原久子会長は「会員にはメールを受信できない人も多いが、町内から広く参加者を募る主催事業のときなどに利用したい」と話していた。

同日は事務局が情報配信までの流れを解説し、「一般のお知らせは午前7時と正午、午後6時の3回配信なので、例えば午前11時に配信情報を打ち込むと、正午に配信される。緊急情報は10分に配信できるので、イベントの中止や延期などのときに活用してほしい」と呼び掛けた。

参加者からはシステムの仕組みなどについて質問が出された。摺沢婦人